



各園の環境や強みを活かしながら、「光」「音」「植物」など各園が設定するテーマに沿って、乳幼児の興味・関心に
応じた探究活動を実践し、非認知能力の向上など、幼児教育・保育の充実を図る幼稚園・保育所等を支援

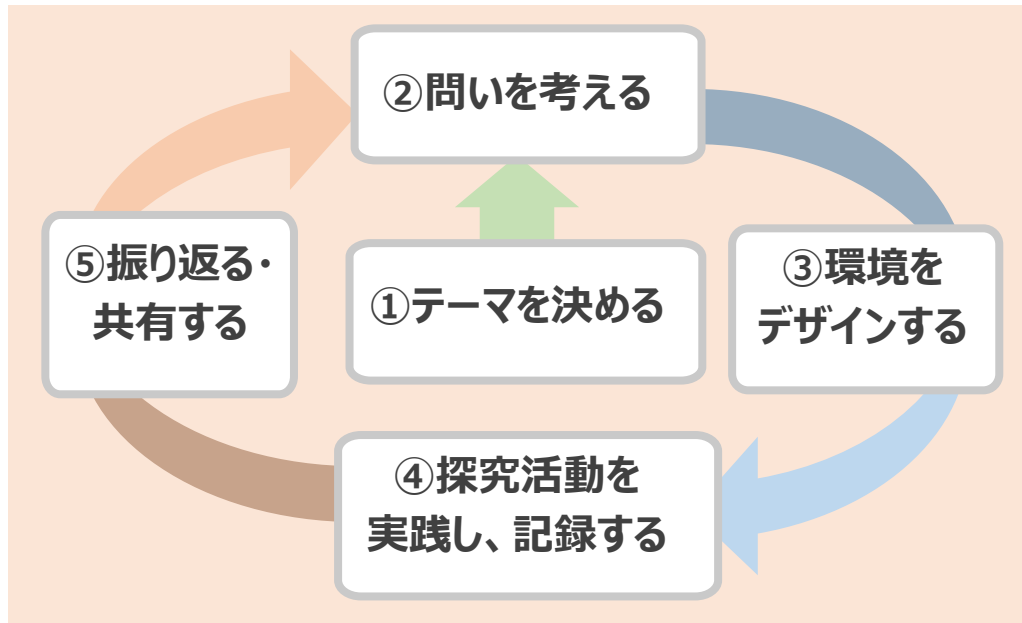
補助事業概要(予定)

※実施に当たっては、令和7年度予算の都議会における成立が前提となります。
今後、内容が変更となることもありますので、あらかじめご了承ください

実施施設	幼稚園、認可保育所、認定こども園 等 ※その他の実施施設は、施設類型ごとの所管局や区市町村からのご案内を参照ください
対象児童	上記施設に通う0歳児から6歳児
補助内容	備品購入費、人件費、研修費等、プログラムの実践に係る経費 1園あたりの上限額：1,500千円（令和7年度）
負担割合	都：10/10（6年間） ※補助の新規採択はR6年度～R8年度を予定
スケジュール (予定)	令和7年4月 要綱等発出 ※補助要件については次ページ参照

補助要件（実施要綱 第5に記載）

◆「とうきょう すくわくプログラム」に基づき、乳幼児の興味・関心に応じた探究活動を一定程度継続的（月を単位として複数月）に実践する。



とうきょう すくわくプログラム推進事業実施要綱 第5 事業の内容
探究活動の実践に当たっては、下記を実施すること。

- ① (1) 幼稚園・保育所等の各施設的环境や強みを活かしながら、乳幼児の興味・関心に応じたテーマを設定する。
- ② (2) テーマに関する乳幼児の興味・関心を探るため、問い掛けやアプローチなどを行う。
- ③ (3) 乳幼児の興味・関心を広げたり深めたりできるような素材や道具を準備し、環境を構成する。
- ④ (4) グループ単位での活動等により、乳幼児同士の対話、関わりを促す。
(5) 活動中の乳幼児の言葉、表情、ジェスチャー等の表現に着目し、メモ・写真・映像等で記録する。
(6) 乳幼児一人ひとりが主体的に活動できるよう配慮した声掛け等を行う。
- ⑤ (7) 記録をもとに、乳幼児の関心や発見、表現を振り返る。
(8) 幼稚園・保育所等の各施設の教諭・保育者同士や保護者等に、探究活動の内容を共有する。
(9) 次の探究活動の更なる充実に向け、新たな問いや環境の構成を考える。

◆ 東京都が実施する研修会等に参加する。

R7年3月	R7年4月～
研修会等動画 配信開始	研修会等動画を視聴しアンケートへ回答した場合、R7年4月1日～R8年3月31日の取組が補助対象
※実践年数に応じた研修会等動画を視聴（配信日以降、いつでも視聴可能）	

◆ 活動報告書等を作成し、園のホームページ等で公表する。

令和5年度の実践協力園の実践を踏まえ、**探究活動の工夫**や**子供の好奇心・探究心を高めるヒント**を、具体的な活動事例とともに、令和6年3月に「とうきょう すくわくプログラム」として取りまとめました。

令和6年度は、「とうきょう すくわくプログラム」の全域展開に伴い、新たな活動事例を追加し、バージョンアップを行いました。



東京都子供政策連携室ホームページに掲載



【例】

テーマ：自然		三光幼稚園（港区）
● テーマを設定する 昨年に引き続き、園庭を活かして自然の探究をより深めたいという先生たちの思いをもとに、テーマを設定した。		
活動 ～自然の観察と表現（5歳児）～		
● 問いを考える グループごとに園庭にある自然の中で異なる対象物を定め、それぞれに触れ、考えを深めながら身体や描画で表現した。 ● 環境をデザインする インスタントカメラ ✓ 各グループのテーマに合わせた道具 ①「池の水」：瓶・鉛筆 ②「果実」：泥粘土・園庭の果実（みかん、かりん、柿など） ③「芽する」：芽する・手・石・綿・葉っぱ・花	● 探究活動を実施する ✓ グループ①：「池の水」 園内の池の水を手で触れて観察した後、池の水を使い、刷毛でコンクリートの地面や土の地面、木の表面などに水を塗って描いた。透明なので最初は見えなかったが、フェンスなどの色の上で水を描くと色が濃くなり、見えるようになるなど発見していた。 ✓ グループ②：「モクレン」 ウォーミングアップとして、指を使って自分の身体の硬いところや柔らかいところなどを触り比べた後、モクレンに触れて観察した。そして、「モクレンの影はどうだろう？手はどうだろう？」などの問いかけのもと、モクレンの形を身体を使って表現した。 ✓ グループ③：「果実」 ウォーミングアップでは足を踏み、ジャンプなどをしながら自分の身体の重さを感じる活動を行った後、果実の重さを手で感じたり、形をよく見る、誰か腰に懸ける、匂いを感じるなど全身を使いながら観察した。その後、自分だけの果実を土粘土で作ったり、大きさを重さなどを表現した。 ✓ グループ④：「芽する」 「お手はどやうな中に入っているだろう？」と問いかけ、お手のある花壇の「地面の下の世界」を想像した。その後、実際に土を掘り、根っこが広がっている様子や、ミミズなどの生き物、土の匂いや質感を観察した。そして園庭のグラウンドに、園で育てた芽のつるを上げてつるの絡みを地面に描く活動を行った。 ● 振り返りをふまえた気づき グループ①では、透明な水が地面などのものと触れ合うことによって色が変わったり、描いた絵が乾いて消えていく様子に、自ら興味を持って探究する姿が見られた。 園でいろいろな遊びをしていた子供たちだからこそ、テーマを広げながら思い切り活動することができていた。	
大豆 「大豆がどうやって食べ物が出来るのか」という問いを立て、大豆を畑で育て、手作業で味噌汁や味噌で変化を観察する。 伝統文化・音 多様な獅子舞を参考に、色やデザインを自由に考え、オリジナルの獅子舞を作ったり、和楽器を使って音の違いを探究する。 えがくつくる 子供が興味・関心をもった主体的に取り組むことのできる制作活動・発表を当てる季節に合った制作活動を行う。 骨 骨の構造や仕組みについて、人体骨格模型と自分のからだを比較しながら、理解を深めたり、様々な生き物の骨に実際に触れてみる。 見えぬものを触ようとする 「納豆菌」や「はちみつ」など、身の回りには目に見えない菌や物質が数多く存在している。顕微鏡で菌や物質を観察したり、はち蜜の結晶を描いて表現する。 様々なテーマで取組が広がっています！ 各園の特色を生かした様々な探究活動が行われています。事例をご提供いただいた園の皆様、心より御礼申し上げます。		

外部委託等について

Q1：委託事業により実施することも可能でしょうか？

本事業は、保育者が内容検討や探究活動に主体的に関わり知見を深めることが必要です。実施に当たり、例えば、活動へのサポートの位置付けで部分的に外部委託等により実施することは可能ですが、すべてを外部委託等で実施し、保育者が関わらない場合は、補助対象外となります。

Q2：委託事業により実施することを検討しており、事業者から活動内容の提案を受けていますが、留意点がありますか？

本事業は、保育者が内容検討や探究活動に主体的に関わり知見を深めることが必要です。実施に当たり、例えば、活動へのサポートの位置付けで部分的に外部委託等により実施することは可能ですが、すべてを外部委託等で実施し、保育者が関わらない場合は、補助対象外となります。

なお、東京都が特定の教材やプログラム等を推奨することはしておりません。探究活動の検討の中でご不明な点がある場合は、東京都が発信する各種情報を参照頂くほか、問合せ先までお問合せください。